

おかげさん



2023年 6月 梅雨号 vol.107
<https://www.vin-sante.com>

～造り手の想いを伝えたい～
直輸入ワイン&こだわり食品の店
Vin Santé ヴァンサンテ ばんどう
TEL: FAX 06-6681-1710
大阪市住之江区西加賀屋 3-2-23
メール : espoa_ban@yahoo.co.jp

ゴールデンウィークが明けた頃から、一気に日常が戻ってきた感じがしますね。先日、用事でなんばに行ったときは、人の多さにびっくりしました。色々な事が急に動き始めて、私は追いつくのに必死な感じがしていますが、皆様は、いかがお過ごしですか？

ようやく再会できました

「年に一度は会おうね！」と毎年どこかで会っていた地方の友達も、ここ数年会っていませんでしたが、今年こそは！と計画を立て、先日、京都と山口に住む旧友と、島根の新しい友、そして私の4人が集い鳥取県の倉吉に行ってきました。

なぜか旧友二人は修行モードで、一人は滝に打たれてみたいといい、もう一人は修験道に興味があるとかで（汗）どうなる事かと思いましたが、結果、三徳山へ登ることになりました。

そもそも修験道（しゅげんどう）って何だろうと調べてみたら、「修験道とは、山岳崇拜を基として、厳しい山々で修行をし、心身を修練し悟りを開くこと」とありました。そして修験道の修行場の一つが、三徳山ということです。入山の心得として、「三徳山は修行の場であり、木の根や岩やくさをよじ登るなど険しい箇所があります。必ず2人以上で入山すること。」など書かれていて、ちゃんと登れるか、途中で滑落しないかと心配になりました。受付をすると、なんと、「その靴では滑るので入山許可は出せません。」と言われ、わら草履を購入して、山を登ることになりました。本当に修行のよう（汗）。道なき道を行き、鎖やロープを使って登っていきます。そして確かにわら草履は苔の上でも滑りませんね。やっとの思いで辿り着いた文殊堂で一休み。お堂の周りぐると縁側があり、高所恐怖症の友達は足がすくんでいましたが、私は平気で縁側からの山の絶景を楽しみました。

そして、さらに上を目指して進みます。地藏堂を過ぎ、鐘楼堂で鐘をついて、観音堂を過ぎると、ようやく国宝 投入堂に辿り着きました。堂全面は断崖で、近づく道すらない垂直な崖に浮かんでいるように建っていて、それは圧巻でした。平安後期に建てられたようですが、その時代に人力だけでどうやって建てたのか、すごいことです。役行者が法力で投げ入れたといわれることから、「投げ入れ堂」と呼ばれるようですが、そのように造られたのでしょうか？

まさかの修行のような再会でしたが、爽快で楽しい旅となりました。

我こそは！という方、ぜひチャレンジしてみてくださいね。 【坂東武子】

